

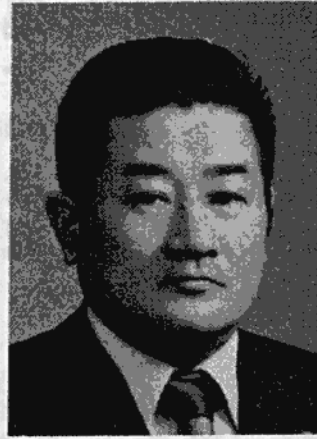
# 新年のごあいさつ



市長  
星野仁十郎

明けましておめでとうございませう。  
新春を迎えるに当たり、謹んでお喜びの  
あいさつを申し上げます。

低経済成長の長期化で、引き続き市行政を  
取り巻く環境は極めて厳しいものがあります  
が、社会経済の変動を適確に把握しながら山  
積する課題に積極的に取り組み、輝かしい未  
来を開く八〇年代初頭にふさわしい年となり



市議会議長  
榎本光雄

八十年代の初頭にあたり、謹んで新年のご  
あいさつを申し上げます。

私は昨年五月、凶らずも議長の大任につき、  
その重責を痛感し、円滑な議会運営と市政の  
伸展に誠心誠意つとめてまいりました。皆様  
のご支援とご協力に対し感謝申し上げます。  
さて、日光市の現状をみますと、長引く不  
況のため、観光客の入り込みも満足するもの

ますよう努力を傾注し、皆様の期待にこた  
えたいと考えています。

申し上げるまでもなく、市政の究極の目標  
は「豊かで快適な市民生活の確立」でありま  
して、その目標達成のために今年も福祉行政  
の充実をはじめ、生活環境・文教施設の整備  
ならびに産業の振興を中心に市民本位の行政  
を推進してまいり所存しておりますが、とりわ  
け今年には過疎化対策の一環として、所野みど  
りの里(五十七区画)の宅地分譲の公募を新  
年早々に開始し、定住構想の具現化を図りま  
す。

また、十月に開催される栃の葉国体(山岳  
競技会・剣道競技会)につきましても、受入  
れに万全を期し総力を結集して成功させたい  
と念じていますので、皆様の一層のご支援、  
ご協力をお願い申し上げます。

ではなく、人口も漸減の傾向にあります。

このような厳しい情勢の中でも市民生活の  
安定・福祉の増進を図らなければなりません。  
観光客の誘致はもとより、冬の観光対策・過  
疎化対策・公共下水道・都市計画及び教育施  
設の充実、更には今回、市が実施した宅地分  
譲事業の推進、また栃の葉国体の開催等々、  
今後幾多の重要問題が山積しております。

これらの解決を図ることがわれわれに課せ  
られた責務であり、関係機関と相まって実現  
に努力する覚悟であります。

なお、本年も終始公正に市民の信託にこた  
え、市政の諸問題を慎重に審議し、ご期待に沿  
うよう努力する決意であります。  
どうか、より一層のご理解ご協力を賜わり  
ますようお願いいたします。新年のごあいさ  
つといたします。

## 冬の日光に活気

### 通算15回目の

### インカレ開催

日光での開催が連続八年、通算  
で十五回目の、第五十二回日本学  
生氷上競技選手権大会(インカレ)  
が、一月八日から十一日まで、日  
光スケートセンターを主会場に、  
市内の各リンクを使用して開かれ  
ます。

初日の八日は、午前十時から、  
総合会館で開会式を行い、午後か  
ら、アイスホッケーとフィギュア  
競技が、電工リンクと細尾リンク  
で行われます。

九日からは、日光スケートセン  
ターで、スピード競技が開始され、  
十一日までの四日間、冬の日光で  
氷上の熱戦が展開されます。

この大会は、日光での開催が恒  
例となり、すっかり定着したよう  
ですが、正月早々日光の町に活気  
をもたらす大きい行事です。市民  
の心からの歓迎で大会を盛りあげ  
たいものです。

越えてせめ込んだ赤城軍が優  
勢で、これを迎えうつ二荒軍  
と、戦場が原で大決戦が繰り  
ひろげられた。文字通り、戦  
場の原となったわけで、その  
負傷者の血で、赤い沼ができ  
るほど。二荒軍は、弓の名手  
猿丸の応援を得て、戦況をく  
つがえし、結局は、二荒軍の  
大勝利に終わったというのが、  
伝説「神戦物語」のあらすじ。  
この物語に結びつけた地名  
というのが案外多い。決戦場  
の「戦場が原」をはじめ、勝  
負を決めて和議を結んだのが  
「勝負が浜(菖蒲が浜)」で、  
負傷者の血が溜ったのが「赤  
沼」であり、負傷の百足が逃  
げ帰り、草木が血に染ったの  
で「赤木山(赤城山)」と呼ぶ  
ともいう。猿丸が、戦勝を祝  
って歌い舞った「歌が浜」や  
住み着いた街が「討つ宮(宇  
都宮)」で、敗戦將軍が「負  
神(老神)」だったりして面白  
い。地名以外でも、伝説にち  
なむ話も多く、両国の境界と  
なったのが、白根山頂上で、  
その頂上は、たしかに二つに  
別れている。二荒山(男体山)  
頂には、大刀が備えてあって  
登山者は「百足共、真二つ」  
と切る真似をする。現在でも  
一月四日に、中宮祠で武射祭  
があり、赤城の山に向けて矢  
を放つ「目式神事」があって、  
伝説は形の上でも生きている。